

○ホテル・旅館における電化

一般的にホテル・旅館は、風呂や厨房への給湯、給水使用量が多く、全体的に多量の燃料と用水を使用します。また1年間休みなく稼働しているため設備の運転時間が長く、かつサービス優先のため空調等を常時運転する傾向にあります。

省エネルギーセンターは、多量のエネルギーを使用するボイラをヒートポンプへ更新(=電化)で大幅なCO2削減を提案します。また、季節に応じた空調運転、窓へのカーテン・ブラインド・遮光フィルム導入、人感センサーによるトイレや廊下の点灯制御、省エネ型自動販売機導入など、ホテル・旅館に合った対策を提案します。

